

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 27. 3. 25 第 189 回国会第 2 号

3 月 25 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・ 下村文部科学大臣から所信を聴取しました。
- ・ 平成 27 年度文部科学省関係予算の概要について、丹羽文部科学副大臣から説明を聴取しました。
- ・ 藤井基之文部科学副大臣、赤池誠章文部科学大臣政務官及び山本ともひろ文部科学大臣政務官からそれぞれ発言がありました。
- ・ 下村文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

義 家 弘 介君（自民）

- ・ 投票年齢の18歳への引下げと、それに伴う少年法改正や学制改革などの必要性について、大臣の所見を伺いたい。また、7割以上が社会人となる前に学生として成人を迎える現在、学生、特に高等学校3年生に対する主権者教育が重要であると考えているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・ 教育について第一義的責任を有する親が子供を連れて投票に行くことは、主権者教育、投票率の向上の面から有益であると考えている。公職選挙法第58条（投票所に入出し得る者）の規定を改め、親が幼児に限らず児童を連れて投票所に行くことができるようにすることについて、総務省の見解を伺いたい。
- ・ 社会的に重大な犯罪を犯した少年に対する少年審判の在り方が社会一般から乖離していることについて、法務省の見解を伺いたい。

吉 田 宣 弘君（公明）

- ・ 安倍内閣総理大臣が、去る2月12日の施政方針演説において、無利子奨学金事業を拡充することなどを述べたことについての大臣の見解及び有利子から無利子への転換の加速に向けた文部科学省の取組を伺いたい。
- ・ 学校施設の天井や窓ガラスなどの非構造部材の耐震化の現状を把握するためにも、公立私立問わず全学校で耐震化点検を実施する必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

浮 島 智 子君（公明）

- ・ 地域全体で学校安全に取り組んでいる学校を「セーフティプロモーションスクール」と認証している大阪教育大学に対し、国立大学法人運営費交付金等による支援を積極的に行うことが必要であると思うが、大臣に伺いたい。
- ・ 道徳を特別の教科にすることに伴う評価の仕方について、パブリックコメントでは価値観や信条を一定の基準により評価される等の懸念が示されているが、文部科学省による特別の教科としての道徳の評価についての基本的な考え方及び今後の検討の在り方を伺いたい。